

# WEEKLY



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD  
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、  
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ  
～我がクラブの志と共に～

## 第19回(通算1633回)例会報告

令和5年12月1日(金)

## 年次総会・卓話

## 出席報告

総会員数57名(計算会員数51名)欠席12名出席率76.47%前々回修正出席率85.11%

## 歌/会場

国歌・奉仕の理想

会場:ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

## 会長の時間

## 山本雅久会長



第19回例会 通算1633回の例会行います。

皆さんこんにちは本日は総会を行います、次年度の理事役員の候補者名簿を状差しに提出された如く承認のための総会を行います。どうぞよろしく

お願いいたします。

本日はクラブ計画書の中期ビジョンプロジェクト委員会の昨年度の会長杉田和俊一昨年の会長杉浦宏始の会長経験者による未来を展望したゴールデンロータリクラブ作りについてお話をいただきます。宜しくお願いいたします。次に年末家族会の参加者数ですが72名から90名から120名になってきました。皆様のご協力に感謝いたします。親睦委員会の皆様のご協力に感謝と当日の運営も漏れの無きよう宜しくお願いいたします。有難う御座いました。終わります。有難う御座いました。

本語は、家と庭と書くように、現在、家庭と言うものを育てています。

昨年の秋に父が他界しました。

父は、ライオンズクラブに所属していましたが、息子の私が高校の時からゴールデンロータリークラブでお世話になっていることを知っており、ライオンズへ入会せよとは言わず、若くして本クラブへ誘ってもらったのだから迷惑をかけないようにといった具合で入会を見届けてくれました。

さて、後半については、私は地域を育む挑戦をしていることを話をさせていただきます。

地域社会の自治、自治会の自治ですね、自ら治めると書く、このことを常に意識して仕事をしています。私の職業分類は、非営利的団体出あります。一般社団法人を昨年の夏に作りました。地域に、子供たちの学びの場、また学生などの若者の学びの場をつくり、多世代交流を通して、まさに活気をつくる実践をしています。

私の地元、二川は、旧東海道にあり、戦禍を免れたことから、歴史的な建物や雰囲気が残っています。二川本陣近くに、かつては旅籠屋、近年は文房具屋さんだった大正時代に建てられた古民家がありまして、ここを借りて、拠点にして活動をしています。時間の関係で、一つだけ例を紹介しますと、サマースクールですね。夏休みに5日間、11人の子供たちを預かって午前中はALTの先生を呼んで、英語漬け、そして昼は、更生保護女性会さんに食事をつくってもらい一緒に食べ、午後は地域を巡ったり、川で遊んだり、近くの企業や豊川用水のサイホンの見学に行ったりしました。

こうした場を求めていた、子どもらや親御さんからは大好評でまた来年もやって欲しいという声も多くありました。

## 会員スピーチ

「私が今まで育んできたこと」

「私が現在育んでいること」

「私がこれから育んでいきたいこと」

## 尾崎雅輝会員



今育んでいること。まず3人の子供であります。上が小学4年生の長男、今年wbcを観て、少年野球を始めました。真ん中が少1の女の子、踊りが好きです。そして3番目が年少の次女でおてんばです。10才、7才、4才とちょうど3つずつ年が離れており、毎日、家の中は明るくとても楽しい日々です。

ちょうど2年前に家を建てました。まだ引越してかの整理できてないこともあります、家の中や外の庭も育んでいると言えばそうしておりまして、やはり、家庭という日



実は、このサマースクールの運営には東京にいる豊橋や三河出身の大学生が関わってくれました。その代表が、市川慎太郎君で、彼は高校時代に、本クラブの交換留学で、アメリカに行っておりました。その時の縁が、ずっと続いておりました、今回彼と彼の仲間と、豊橋二川でサマースクールを一緒にできた事はとても有意義なことでした。

私の後、牧さんさんが話しますが、2人の共通点は、ライラの地区委員をさせていただいたことです。私は、その時の若者を支援する経験が、今に活きていると感じています。

私は、高校時代に高校生ボランティアネットワークを通してロータリーに出会い、それからもずっとロータリーに育んでいただきました。そのことに深く感謝しており、現在、次の世代へロータリーの奉仕の精神というものを後ろ姿で見せようと日々、失敗と小さな成功を重ねています。

これからもロータリーに教わった大切なことを育んでいくことを誓いまして、スピーチを閉じます。ありがとうございました！



**牧 岳大会員**

皆様、こんにちは。本日は5分間スピーチということで、私が育んできたことをお話いたします。

千葉県の公立中学校を卒業しているのですが、卒業時に校長先生より、

「継続は力なり」と書かれた色紙を頂いております。また、在籍時に、求められる生徒像として、「向上心旺盛にして、何事にも最大限に努力する生徒」という目標を与えられていました。今でも覚えているということは、何気なく気に留め続けているのだなと思っております。

高校の校訓は「自主自律」と「質実剛健」。校則は一応あるが、ほとんど教師からの干渉はなく、それを守るかどうかとも自主性に任されている高校でした。ここら辺、自分の人格形成にかなり影響していると思います。高校で木高祭という文化祭がありました。「木高祭は我々のもっているものの総和ではなく、もちうるものの総和である。」という代々伝わっている標語があります。吉田松陰の「未見の我」と類似しています。自分でも持っていることに気づいていない何かしらの能力、誰かによって引き出されたり気付かされることがあるとか、色々な解釈ができるものです。人と人との間柄、その入口みたいな位置付けに私の中ではなっていて、RYLA セミナーのカウンセラーをやっている時にも、ふとした時に、毎年思い出す感じです。

ロータリーに入会してからは、「最もよく奉仕するもの最も多く報われる」と「超我の奉仕」ですね。ロータリーの公式標語です。「最もよく奉仕」とは何を意味するのか

とか、超我の奉仕と滅私奉公の差分は何か。その差が何を意味するかとか、そういったことに思いを巡らせてみたりしています。そして、身の回りで起こる様々な事象をフィードバックしながら、少しずつ自分の心を育て、その時々自分なりのアウトプットとして、自分の周囲の方々々に奉仕を提供できればと思っております。

もう一つ、深川純一先生の「愛情の世界の考え方をもって、打算の世界をコントロールして行こう」という職業奉仕の根本原理ですね。自分が職業奉仕委員長をさせていただいた時のクラブ計画書の基本方針にしています。損得勘定とか貸し借り無しで関係を精算とか、対等取引とか同等とかよりも平等、平等よりも公平、公平を超える何か、公平より公正という考え方の方が好きだったりします。最終的には相手を信じての無償の愛かなどか思っております。自分の心、相手の心、互いの間柄、上っ面だけとか反して心からとか、時間と共にどう変化するかとか、色々なファクターがありますが、自分なりに育んでいきたいと思っております。

天台宗東海教区檀信徒会副会長としては、「山家学生式（さんげがくしょうしき）」ですね。これも自分のものにするには、一生かけてもできるかどうかと思っておりますが、一隅を照らしながら、修身齊家治國平天下ということで、まずは自分の足元から頑張っていきます。もう一つ、月の兎ですね。仏様の前世。捨身月兎です。

改めて、小学生の頃から育んできたものって考えた時、ことわざ辞典を読むのも好きな子供でした。好きなことわざは、三人寄れば文殊の知恵ですね。3人兄弟なので。反対に、船頭多くして船山登るとのことわざも気をつけるようにしています。

育んできたもの、こんな感じで、誰かから与えて頂いたものを心で消化するために、マイペースに根気よくといったところです。

今、育んでいるものも、そういう意味では過去からの継続です。与えられた役目の中での足元という形で、自分なりのアウトプット。やってみて、経験してまた自分の心に問いかける。流行りのやり方であれば、PDCA サイクルかなと思います。

将来育んでいきたいもの。多分、これらのこと、一生をかけて中途半端な境地で心の PDCA をグルグル回しているんだろうなあか思っていたりします。

凡人は凡人なりに、些細な奉仕ができればと思って、日々精進していきます。何かに迎合するより、向上心を持って、自分の良心に照らし合わせてという行動を心がけているので、場面場面で頑固だなとか鬱陶しいとか思われる方も多くいらっしゃると思いますが、今後とも、よろしく願いいたします。

**年次総会**

年次総会開催。  
次年度役員理事が承認されました。

山本雅久会長



卓話「未来のクラブの在り方」



鬼頭秀幸プログラム委員長

今回の例会担当、プログラム委員長の鬼頭です。何故か今回を入れて連続3回例会担当となります。高井幹事の戦略かもしれないと思っています。

さて、本年度私は、地区のエレクト研修会にファシリテーターとして、参加しています。会長エレクト研修会とは、地区の研修委員会が、2760地区の84クラブある他クラブの10数名程度の方たちと、次年度の会長の為に6時間×3日間、18種類のセッションを受けるものです。

その内容を簡単に説明しますと、各クラブの会長に進行役のファシリテーターからお題を出され、それに答えて、情報を共有し、自分のクラブ運営の参考にするという時間です。本年度の我がクラブの会長エレクトの本多さんも張り切って楽しそうに参加していました。と、言いたいところですが、なかなか大変だったと思います。私は、2時間×3日間の受け持ちで、お題に沿って進行し、空いた4時間は後ろに座って、他クラブの会長エレクトの話聞いて様々な情報もとれ一つのセッションをずっと聞けて勉強にもなります。よって、とても役得感を味わえますが、本多エレクトは、ほぼ6時間座りっぱなしで、ファシリテーターから質問されたり、ディスカッションしたりと寝る暇ありません。最近のゴルフの不調は、これが原因かもしれません。

本題に移しますが、私がファシリテーターとして参加したときに、各クラブに戦略委員会というものがあることを知りました。我がクラブでは中期ビジョン委員会にあたるのかなあと思いましたが、恥ずかしながら何をするのか、機能しているかもわからなく、おまけに私の名前まであるので、これはまずいと思ひまして、この例会を提案しました。今回の卓話を頂く、杉浦さんと杉田さんにいたっては、丁度、中期ビジョン委員会というものが出来上がった時くらいの会長と幹事経験者なので、うってつけのスピーカーだと思います。それでは、よろしく願います。



杉浦宏始会員

先程、年次総会も終え、次年度役員・理事候補者について承認されました。おめでとうと云うか、ご愁傷様です。頑張ってください。

当クラブも持続可能で、さらに40周年に向けて、助走し始めることを期待します。

さて、本日の卓話ですが、クラブ計画書には、特に事前にプログラムされてなく、前回の理事会で、委員会構成のプ

ロジェクトチームの中に〈中期ビジョン (P) プロジェクト〉がある為、お鉢が廻って来たようです。本来中期ビジョン (P) の委員長は、今年度の山本会長ですが直前の杉田会長とその前という事で、私と二人で30分卓話の時間を戴きました。流れとして先にさせていただきます。テーマは「未来のクラブの在り方」と頂いてますが、先ほど、会長が触れたイスラエルの話の方が喜んでしゃべりたかったです。

まず、なぜ中期ビジョン (P) が出来た云われからお話しさせていただきます。

2017-2018年度2760地区神野ガバナーの時、「奉仕を通じてロータリー活動に楽しみを見い出そう」

地区ビジョン「10年後20年後も地区の輝きが持続可能であること」

—そのためにはクラブが輝いていることが必要—

行動指針 —〈今日からのロータリーを楽しむための実践項目〉— その1に

クラブ中期計画策定のためのクラブ戦略委員会の設置。

クラブビジョンの策定で会員の行動ベクトルは強くなるという事で、急遽、当年度の若林会長の時に作ることにしました。

その年度の幹事が私自身でした。またその年度が、東三河分区12RCのガバナー補佐を当クラブから大須賀憲太君を輩出したので、その為プロジェクト (P) もIM企画 (P) 及び親睦ゴルフ企画 (P) もあり、地区協議会のときには、すでに委員会構成もされていたので、当クラブは急遽、理事会メンバーが中期ビジョン委員会を兼務するという前代未聞の構成になりました。委員長は当然若林会長です。中期ビジョン委員会の

〈基本方針〉

今年度、神野ガバナーは、今後各クラブの在り方を中期・長期ビジョンとして検討する委員会を設置するように地区方針として挙げられました。そこで、今後のクラブ課題についてあらゆる方面から当委員会で検討を重ね、この課題を一歩ずつ達成することに心掛けて参ります。

〈活動計画〉

1. 改正したクラブ細則を、クラブ全員に周知と理解の実践に心掛ける。
2. 「ロータリーで心を磨き、活力ある元気なクラブを」の実践に心掛ける。
3. クラブ適正会員数を維持できるように、全会員で会員増強に心掛ける。

そこで、創立25周年諮問委員会 (牧野政雄委員長)

創立25周年に関する答申 より

歴代会長の意見と会員のアンケートからのクラブの課題と検討事項に関する提起

その9つの課題の一つ

課題 2-4 高校生VHNWの今後の在り方

プログラム提唱の目的に沿った活動成果を得ているが、20年という長きにわたる継続を一考すべきではないか



その年度の青少年奉仕委員会（川口委員長）は高校生 VHNW (RCC) のビジョン（提案）～ロータリーのプログラム (RCC) から地域のプログラムへの移行を目指して～その後、毎年一年ずつ会長・幹事がずれながら 4 期にわたる 8 名の委員会で今後のビジョンをその都度、何かあれば模索することになりました。伊藤会長年度に、歴代会長会の意見を経て高校生 VHNW は終結しました。それではこの続きを杉田今年度直前会長にバトンタッチさせていただきます。



**杉田和俊会員**

当クラブにおいては、中期ビジョンプロジェクトや中期ビジョン委員会、他クラブでは一般的に戦略委員会という名称で、クラブの中期的な方向性を検討し、持続可能なクラブを目指すための委員会であり、その誕生期については先程杉浦会員からお話しを頂きました。私からは、この卓話が決まってから急遽 11 月 13 日に開催された中期ビジョン委員会の内容を含めてお話ししたいと思います。しかしながらその内容だけでは 15 分もたないので、私が会長を務めた昨年度に掲げたクラブ方針を「元気で活力あるクラブをつくろう！」とした際に、その骨子とした RI の行動計画も含めて「未来のクラブの在り方」につながることをお話ししたいと思います。

まずは、中期ビジョン委員会について話します。私の記憶に新しいところでは、昨年度において創立 35 周年の記念式典をどのような規模で行うべきか、また記念事業の内容について当時の山本会長エレクトと高井次年度幹事に答申を致しました。但し、この中期ビジョン委員会には、決定権や強制力はありませんので、あくまでも参考意見やアドバイスをすぎません。最終的に決定したのは会長幹事であり理事会であることは言うまでもありません。そして直近、先月 13 日に玉川うどんで開催された中期ビジョン委員会では、特に何か問題が生じたための開催ではなく、そもそもこの中期ビジョン委員会の開催目的や役割について再度確認しようということでの開催となりました。話し合いの中では、当該年度の執行部や理事会だけで判断できない問題が生じた場合、過去 2 年の会長幹事、当該年度の会長幹事及び次年度の会長幹事の 8 名（今年は 6 名）で協議し、クラブの方向性について情報共有するのが中期ビジョン委員会の役割だと確認しました。その上で、今いろいろと検討して頂いている RCC やグローバル補助金など複数年度に渡る事業は、単年度でしか決定権を持たない理事会が提唱していくことはそれなりにハードルが高い作業なので、そのきっかけを中期ビジョンで提案、答申してもらうことですすめ易くなるのではないかと。また複数年度に渡る事業については、定期的に進捗状況を確認し、必要に応じて計画の修正をするべきで、その役割を中期ビ

ジョン委員会が担うのが良いのでは。中期ビジョン委員会が効果的に機能するように、定期的な開催をすべきだ、などの意見がでました。鬼頭次年度幹事は、この定期的な中期ビジョン委員会の開催に大変意欲的でした。私も来年度まで中期ビジョン委員会のメンバーですので、それまでは協力させていただきます。

次に、未来のクラブの在り方について話したいと思いません。私が昨年度のクラブ方針を「元気で活力あるクラブをつくろう！」とさせて頂いた思いの根底には「将来に向けてゴールデンを強いクラブにしたい」というのがありました。では、強いクラブとは何でしょうか。ちょっとイメージをしてみてください。自分のクラブの強いところ、弱いところ。あるいは、皆さんが思う強いクラブとは何をしているクラブか。どのような仲間で行っているのか。これから皆さんがクラブのなかで何を行うということなのか。そういうイメージが湧いてきますでしょうか。これについては正解があるものではなく、いろいろなことが考えられます。過去に行った様々な活動を思い浮かべる方がいるかもしれませんが。会員数を増やすこと、地域社会への奉仕活動を毎年行うこと、米山などの奨学生の面倒を見ることなど、具体的に色々と思いつかせる方もおられることと思いません。先日の 35 周年記念講演の講師としてお招きした高野孫左エ門氏もお話ししていました国際ロータリーの行動計画、そして 5 つの中核的価値観から強いクラブを考えてみたいと思いません。

まず国際ロータリーの行動計画ですが、アクションプランと言われるもので、毎年発表される RI 会長のテーマにもかなり影響を与えているものです。この行動計画には戦略的優先事項が 4 つあります。1 つ目は「より大きなインパクトをもたらす」です。行った事業が影響もたらす、あるいは、それがきっかけとなって大きな活動となっていくというものです。2018-19 年度バリー・ラシン RI 会長のテーマ「インスピレーションになろう」にもつながるかと思いません。2 つ目は「参加者の基盤を広げる」です。これはすぐにピンとくるように会員増強のことです。数は力という言葉と少数精鋭という言葉がありますが、しかしながらロータリーの仲間は多いほど大きな事業ができると私は思いません。3 つ目は「参加者の積極的な関わりを促す」です。ロータリーの活動に賛同する他の団体や個人と協力したり、つながっていく、いわゆるコネクトで、2019-2020 年度マーク・ダニエル・マローニー RI 会長のテーマが“Rotary Connects the World”（ロータリーは世界をつなぐ）でした。2 つ目の参加者と 3 つ目の参加者は少しニュアンスが違います。2 つ目の参加者は我々のロータリーメンバーということで、3 つ目の参加者はロータリーを行う様々な活動に参加してくれる一般の方々も含めてということ。4 つ目は「適応力を高める」です。時代に即応した活動、時代に即応した組織、時代に即応した計画など、変化をさせていくということ。いわゆるチェンジ。2021-22 年度シェカール・メータ RI 会長のテーマが“Serve



to Change Lives”（奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために）となっています。これらは今まで聞いた事はあるけれども、クラブの活動と関連付けたことはないと言われる方が大半かと思えます。クラブの中期的プランを立てる上で、この4つのアクションプランは、一つ一つをこなすことが活動の行動ノルマではありません。ここで言われていること、求められていることを理解すること、何らかの活動に反映させることが重要なのだと思えます。今求められているロータリーの活動は目に見える活動です。適応力を高め時代の変化に応じた活動をすることです。そのためにはクラブの活動のあらゆる面を大きく変える必要も出てきます。伝統ある、歴史の長いクラブによく見られる保守的な集例会を中心とした運営も良いのですが、外から見てインパクトが大きく、賛同者が多い奉仕活動を行うことが重要となっています。そのためには会員の基盤を高めることや共に奉仕活動に積極的に参加してくれる人々を増やすことが必要になってくると思えます。

次に5つの中核的価値観から強いクラブづくりを考えてみます。5つの中核的価値観とは、奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの5つです。この5つに優先順位というものありません。「奉仕」と「親睦」は昔からロータリークラブの活動の両輪というように言われてきました。あらためて申し上げるまでもなく、奉仕と親睦は、私達ロータリアンの重要な要素です。ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕を共に行う事によって心の底から得られる親睦、いわゆる純粋親睦と言われるものです。場合によっては民族や国家を超えて得られるものも有ると思えます。「多様性」は、最近言われ出したことですが、多くの人々と関わり合いを持つ、協力し

合う上で大変重要なことです。多様性を見出し、認め合いながら公平な社会を作り上げることです。私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。自分の考えや身近な人の考えだけでは無く、多くの方々の存在や考えを認め、理解し合う事が大切なのだと思えます。地域や国を超えて理解し合う事で、自分自身の世界も広がるのだと考えます。4つめは「高潔性」。ロータリーには4つのテストというものがあるのでこれを意識するのは容易だと思います。真実かどうか、みんなに公平か、...、ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を以って活動しています。これは他人に押し付けるものでは無く、自分で実践するのみです。最後は「リーダーシップ」。ロータリアンは、それぞれがそれぞれの分野に於いて優れたリーダーであるべきです。指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮することが求められています。

まとめますと、未来のクラブをより良いものにするために我々が目指すべきことは、時代の変化に応じて、よりインパクトの大きい奉仕活動するために、会員の基盤を広げ、積極的な関わりを持つ参加者を増やすということです。また、クラブの運営や活動で中核的価値観である奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップのこの5つがしっかりと価値観として共有できていれば素晴らしいクラブとして魅力ある強いクラブになる筈です。我がゴールデンの未来の在り方をイメージする際に、この行動計画や中核的価値観が反映されることを願ひまして、私の卓話を締めくくりたいと思ひます。ご清聴ありがとうございました。

★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：未来のクラブの在り方について  
杉浦会員、杉田会員よろしくお  
願い。

伊藤眞芳：四つのテストを唱和させて頂き。

尾崎雅輝・牧 岳大：会員スピーチをさせて頂き。

鬼頭秀幸：担当例会の趣旨説明をさせて頂き。

杉浦宏始：中期ビジョン委員会の卓話をさせて頂き。

杉田和俊：中期ビジョン委員会と未来のクラブの在り方  
について卓話させて頂き。

福沢省吾：会長経験者の杉浦会員、杉田会員が考える「ク  
ラブの行き末」のスピーチ大変楽しみにしてい  
ます。

廣瀨成一：写真をありがとうございました。

太田和彦：ニコボックスを発表させて頂き。

太田和彦ニコボックス委員長

★幹事報告

・2024年ロータリー国際大会(シンガポール)登録のご  
案内、愛知ロータリーEクラブより事務局住所変更  
と専任事務局員配置のご案内が届いております。

★他クラブの例会変更

- 12月12日(火) 宝 飯 RC クリスマス例会
- 12月13日(水) 渥 美 RC クリスマス家族会
- 12月14日(木) 田 原 RC まちなかサイクリング
- 12月18日(月) 豊橋南 RC 年末家族例会
- 12月19日(火) 宝 飯 RC 創立記念日例会  
豊橋北 RC 年忘れ家族会
- 12月20日(水) 豊橋東 RC クリスマス家族例会  
豊 川 RC 年末家族会  
田原パ RC クリスマス家族例会(サシ無)
- 12月21日(木) 田 原 RC 講演会及び親睦会食会  
豊 橋 RC 年末家族会